

学校保健

SCHOOL HEALTH

2023. 3 No. **359**

公益財団法人
JSSH 日本学校保健会
 JAPAN SOCIETY OF SCHOOL HEALTH
<https://www.hokenkai.or.jp/>

健康教育のさらなる発展にむけて 令和4年度全国健康づくり推進学校表彰式を挙行



最優秀校表彰状授与



来賓祝辞 文部科学省 健康教育・食育課長 南野 康



最優秀校の皆様



日本学校保健会では、2月4日(土)、日本医師会館(東京都文京区)において令和4年度全国健康づくり推進学校表彰式ならびに最優秀校実践事例発表会を3年ぶりに開催いたしました。

(関連記事2~3ページ)

左 最優秀校による実践事例発表会

主な誌面

令和4年度全国健康づくり推進学校表彰
 最優秀校紹介・講評……………2~3
 特集 GIGAスクール構想とICT教育時代の学校保健
 学校での実践 I GIGAスクール@増中保健室! ……4~5
 学校での実践 II ICTを活用した登下校に関する指導の実践 ……6~7

全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑤
 大阪府立とりかい高等支援学校……………8~9
 学校保健・学校教育と脳卒中予防啓発……………10~11
 令和4年度日本学校保健会賛助会員……………13

回覧

校長	教頭	保健主事	養護教諭	栄養士	学校医	PTA会長	学校医	学校歯科医	学校薬剤師

【お知らせ】「学校保健」は年6回(奇数月)の発行です。学校保健委員会の参考に学校三師の方々へもご回覧ください。

令和
4年度

公益財団法人 日本学校保健会 **全国健康づくり推進学校表彰**

— 最優秀校紹介 —

岩手県二戸市立仁左平小学校

きりっとした体で自ら学び
心豊かな児童の育成

～学びの基盤となるたくましい心身を
地域とともに育成する健康教育～



「きりっとした子ども」の育成のため、口腔機能発達取組や運動・食・生活習慣を統合した「60プラスプロジェクト」、小中合同学校保健委員会取組の他、コミュニティ・スクールとも協働して地域とともに健康づくりを進めています。

岐阜県岐阜市立徹明さくら小学校

「自分とみんなのしあわせをつくる」
子の育成

～歯科保健を窓口にした健康づくりと
心身がしあわせな学校づくり～



「JTY（自分から 楽しく やってみよう）」を合言葉に、歯科保健を窓口とした健康づくりや安全・安心のための取組の他、様々な人と関わり夢を拓げる活動を通して「しあわせ」な学校づくりを進めています。

鹿児島県鹿児島市立山下小学校

児童が主体的に取り組む
心身の健康づくり

～学校・家庭・地域・学校医の
連携を通して～



学校・家庭・地域・学校医が連携を図り、児童の自己管理能力の育成を目指した学校保健を推進しています。健康情報に関するニュース番組や歯みがきソングの制作など健康づくりに関する活動に児童が主体的に取り組んでいます。

茨城県北茨城市立関本中学校

心身ともに健やかに生涯にわたって
よりよく生活するための実践力の育成

～学校間、家庭、地域、関係機関との
連携を通して～



健康教育推進の6つの柱として、保健・安全・食・保健委員会活動・地域・関係機関との連携を通じて、自己管理能力の育成に取り組んでいます。今後も、「チーム関本」で、健康づくりに取り組んでいきます。



特色ある学校保健活動を評価

表彰式ならびに実践事例発表会の動画を配信しています。(要登録)

また、最優秀校・優秀校の実践報告をデジタルアーカイブから読むことができます。

地域と連携した児童生徒の健康づくりに特色ある学校取り組みをご覧いただき、ぜひ学校での健康教育や保健指導にお役立てください。

https://www.hokenkai.or.jp/hyosyo/2023_commendation.html



令和4年度の審査を終えて

全国健康づくり推進学校表彰審査委員会小委員会委員長 **松平 隆光**



日本学校保健会では、毎年、健康づくりを推進し、成果を挙げている学校を表彰している。

令和4年度は、小学校35校、中学校15校、高等学校5校、特別支援学校2校、合計57校の推薦があった。書類審査の結果、57校すべて優良校候補校以上であることを確認し、さらに、優秀校候補校の選定にあたっては、16校を選考し、学校訪問を行った。

その結果、岩手県二戸市立仁左平小学校は「歯と口の健康づくりを中心に健康教育に取り組み、今日的な課題にも地域ぐるみで活動し、児童の健やかな成長に力を注いでいること」、岐阜県岐阜市立徹明さくら小学校は「歯と口の健康づくりを重点とする諸活動を通して、自らの健康を守り主体的に行動する生きる力を育む取組をしていること」、鹿児島県鹿児島市立山下小学校は「山下の十訓に基づいた児童の自己管理能力育成を目指した歯と口の健康づくり、環境衛生活動、望ましい食生活の習慣形成等の取組をしていること」、茨城県北茨城市立関本中学校は「施設一体型小中併設校の特色を生かし、全教職員が一体の組織となって児童生徒の9年間を見通した健康づくりを推進していること」が評価され、最優秀校となった。その他12校は全て、優秀校に選定された。

最優秀校に準ずる学校として、岐阜県関市立金竜小学校は「歯と口の健康づくりと食に関する指導を推進してきたこと」、青森県立鶴田高等学校は「過疎による廃校を目前にしながらも、教師全員が、生徒に寄り添いきめ細かな対応による健康づくりを推進してきたこと」が評価され特別奨励賞を受賞した。

日本学校保健会が毎年実施している「全国健康づくり推進学校表彰事業」は、選考された表彰校を単に顕彰するだけに終わらせることなく、健康づくりの推進校として、その成果を広く全国の学校へ啓発し、多くの学校に実践していただくことを目的としている。

被表彰校のみならず、おめでとうございます

令和5年度も学校保健活動に特色ある学校のご応募をお待ちしています。

特集

GIGA スクール構想と ICT 教育時代の学校保健

学校での実践 I

GIGAスクール@増中保健室!

富士川町立増穂中学校 養護教諭 雨宮 恭恵

1. はじめに

本校は、山梨県甲府盆地の南部、釜無川と笛吹川が合流し富士川となる合流点、富士川町にある中学校である。

本校の学校目標は「夢に向かって主体的に学び・行動する生徒の育成」である。それを受けて、学校保健目標は「自分の体や健康に関心を持ち、健康づくりに取り組むことができる生徒の育成」とし、学校保健活動を行っている。

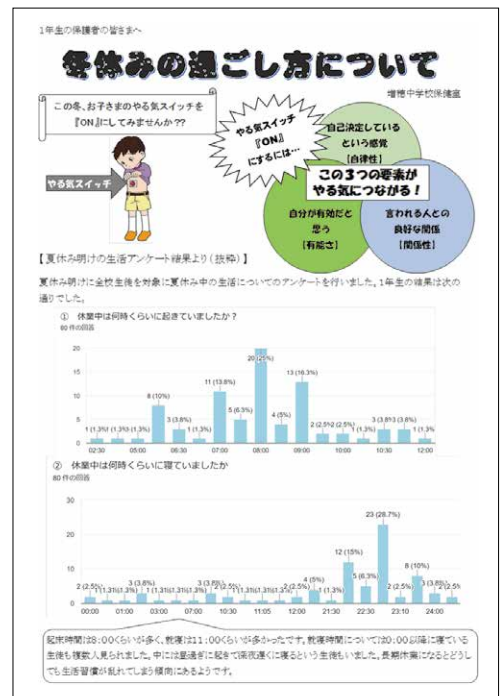
新学習指導要領改訂に伴い、本校でも昨年度一人一台タブレット端末が導入された。導入当初、保健室に来室する生徒から、タブレットでの授業を楽しみにしている様子を伺うことができた。そんな生徒の姿から、保健指導でもICTを取り入れることで、生徒の興味関心を引くためのいい手立てになると思い、できる範囲で少しずつ活用している最中である。

2. ICTを活用した保健指導の実践について

(1) フォームを使った長期休業明けのアンケートの実施

夏休み明けの生活アンケートをフォームで実施。その結果を活用し、冬休みの過ごし方について保護者向けのおたよりを作成した。就寝時間やスマホ・タブレットの使用時間など、夏休み中の生活習慣の実態を家庭に知らせ、冬休みの過ごし方について配慮してもらおう内容とし、三者懇談の時に担任から保護者に渡してもらった。フォームでのアンケートだと、学年ごとの集計結果や結果のグラフを出すのも簡単なので、兄弟関係があっても、内容が若干異なるおたよりを渡すことができた。

フォームでのアンケートのグラフを保護者に向けたよりに載せた。



(2) 富士川町のキャラクター“ゆずにゃん”を活用した目の体操動画

タブレットの使用により、気になるのが目への影響であったので、簡単にできる目の体操の動画を作成した。富士川町のキャラクター“ゆずにゃん”のイラストをペイントで加工し、パワーポイントで目が回転するようにアニメーションをつけ、動画を作成。それをGoogle Chrome仕様に置き換えた動画にした。実際に動きを加えられるので、紙面だけではわかりにくい部分も伝えることができた。



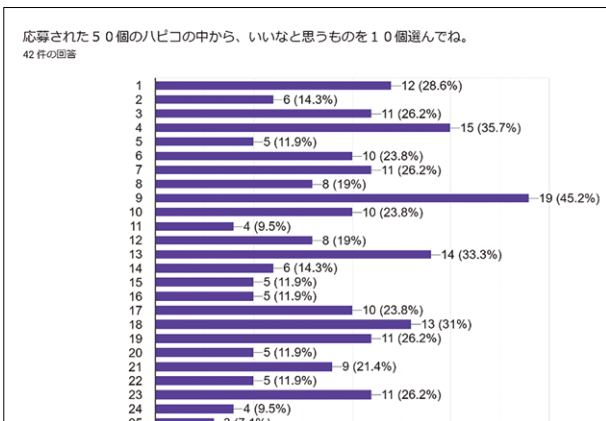
パワーポイントで目が回転するようなアニメーションをつけ動画を作成。Google Chrome 仕様に置き換えた。

(3) 町内中学校保健委員会の交流「心を元気にしようプロジェクト」

2年後に統合を予定している、同じ町内にある2校の中学校の保健委員会で「心を元気にしようプロジェクト」と題し共通の取組を行い、交流を行った。

この取組は、心が元気になる言葉を“ハッピー言葉=ハピコ”と名付け、2校で同時に募集し、応募があった言葉をさまざまな形で発信した。入試など新年度に向かい心が不安定になる時期を乗り切るための手立ての一つとすることと、今後統合を控えたお互いの学校を身近な存在として認識できるきっかけとすることをねらいとし、両中学校の養護教諭同士で、企画・運営を行った。Google Chromeに町内養護教諭の共有ドライブを作成してあったので、学校が離れていても同時に資料の作成・編集などを行うことができた。

取組の一つとして2校のハピコの中から50個選出し、その中から保健委員会全員でフォームでの投票を行い、31個のハピコを選びハピコカレンダーを作成した。フォームでのオンライン投票を行うことで、離れていてもオンライン上で簡単に集計できた。また、Google meetでの交流会を実施し、オンラインで表彰式やミニレク、画面共有での投票結果の発表などを行った。オンラインを活用することで他校との交流が移動の時間を配慮することなく行えるとともに、感染症の流行時でも予定通り交流を実施できるため効果的であった。



フォームでのオンライン投票を2校で行った。オンラインで行うことで、離れた2校での集計もスムーズだった。



隣の中学校との交流会の様子
電子黒板で他校の様子を映し出し、交流を行った。



オンライン投票で選ばれた31個の言葉でカレンダーを作成。隣の中学校の保健委員会の生徒が字を担当し、本校の生徒がイラストを担当した。ICTだけでなく手書きというアナログな方法も取り入れた。



校長先生賞・ハピコ大賞に選ばれた4つの言葉は給食の海苔のパッケージにプリントしてもらい町内の学校に配付された。

特集

GIGA スクール構想と ICT 教育時代の学校保健

学校での実践Ⅱ

ICTを活用した食に関する指導の実践

香川県三木町立三木中学校 栄養教諭 秦 和義
(前任校 高松市立国分寺北部小学校)

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、心身の健康への意識や食育の重要性が高まっている。また、伝統的な食文化が失われていくことへの危惧、情報化の急速な進展により、食に関する正しい情報を適切に選別し活用することの難しさが課題となっている。そのような中、ICTを活用したより効果的な食育が重要となり、栄養教諭として専門性を生かした指導を行うことが求められている。タブレット端末や電子黒板が導入され、給食の時間や教科等の授業においても、ICTを活用した指導を行う機会が増えており、本県の栄養教諭・学校栄養職員間で、活用のためのスキルアップを積みながら、ICTを活用した実践事例の情報共有や指導資料の作成、活用方法についても検討を重ねている。今回は、現任校の中学校だけでなく、前任校の小学校における実践事例も含め、一部を紹介することとする。

2. 食に関する指導の実践内容

(1) 給食の時間における指導

① 電子黒板を活用した指導

感染症予防対策を考えながら給食の時間を過ごしていく必要がある中、全学級に導入された電子黒板や共通フォルダを活用し、パワーポイントによるスライドや動画を使用して指導を行っている。栄養教諭が各学級を訪問した際、以前は紙媒体や模型などを使用して指導をしていたが、電子黒板を活用することで、大きく見せたい物や細かいグラフ等を教室後部の児童生徒も見やすくなるメリットがある。

前任校の小学校では、毎日の献立の写真や給食の使用食材を「食べ物の3つのはたらき」に分けて示したスライドを活用することで、給食の時間の放送と併せて指導できるようにした。学級によっては、給食の時間が始まると、係の児童が共通フォルダの中にある該当のデータを立ち上げ、電子黒板へ映し出している。このデータを活用することで、児童が見通しをもって給食の準備をしたり、食べながら視覚的に知識を習得したりする一助となっている。現任校の中学校では、同様の情報に加え、その日の給食目標に応じた指導資料のスライドを廊下に設置された大型モニターに朝の時間から映し出すことで、食育の啓発資料としている。



② 給食委員会の取組

給食委員会の活動における呼びかけや発表の際も、パワーポイントによるスライドや録音機能を活用し、全校生徒へ発信している。全校集会等がなかなか実施できない中でも、効果的な取組となるよう、委員会で工夫しながら実践している。

③ 学校給食を活用した「おにぎらず作り」(小学校第6学年)

家庭科の調理実習を思うように実施できない状況の中、6年生の校外学習の行程に、うどん作りや試食があったため、香川県農政水産部水産課や香川県漁連の事業である「香川県産のりの無償提供」を活用し、「お

にぎらず」を作ることとした。初挑戦の児童も多かったことから、事前の給食の時間において、書画カメラを活用した学級担任による「おにぎらず」の実演を行った（当日の給食であるキムチごはんを活用）。児童に当日までの計画や作り方について見通しがもてるようにし、意欲的に取り組むことができるような工夫を行った。



(2) 教科等における食に関する指導

① 道徳科と関連させた学習（小学校第1学年）

1年生道徳科において、ふるさと学習教材である「わたしたちのふるさと かがわ」中の「うちこみうどん」を学習した。この学習を通して、児童が家庭生活において、自分にできることを進んで手伝うなどして、積極的に家族と関わり、家族の一員として役に立つ喜びが実感できるよう、学習を計画した。また、香川県の郷土料理である「打ち込みうどん」を扱っており、栄養教諭による郷土料理の説明スライドを用いた話を聞いたり、実際にうどんを打っている動画を見たりすることによって、長年大切にされている郷土料理についてふれ、香川県の食文化に親しみをもてることもねらいとして学習を行った。

② 地域との連携を図った学習（小学校第3学年）

3年生では総合的な学習の時間において、香川県の県花・県木でもあり、町の特産品でもあるオリーブについて学習を行った。例年はオリーブ畑での収穫体験や加工場等の見学を行っているが、感染リスクを考慮し、屋外の活動のみを実施することとした。屋内の加工場内については、栄養教諭が写真撮影やインタビューを別日に行い、その後学級担任が活用しやすいようにスライドを作成し、児童の学習をすすめた。

③ タブレット端末を活用した弁当作りの振り返り学習（中学校第1学年）

総合的な学習の時間における食育を取り扱う内容では、食に携わる方の講話を聞いたり、自分で弁当作りを行ったりしている。弁当作りの振り返りの際、タブレット端末を活用することで生徒同士の交流がより活発となるよう実践した。生徒はまず、当日作って来た自分の弁当の写真を撮り、タブレットで個人のワークシートを作成した。その後、班別に交流を行うだけでなく、電子黒板に全員分のワークシートを映し出すことで全体交流も行った。それぞれの弁当の写りが映し出されることで、弁当の工夫点やアピールポイントを生徒が視覚的に理解することができた。



3. 成果と課題

ICTを活用することが、より効果的な食に関する指導を実践する一助となっている。写真や動画を使用することで視覚的に理解を深めることができ、また、一方向はもとより、児童生徒間、児童生徒と教員間、学級全体等、双方向のやり取りや情報の共有が円滑に行えることとなった。これにより、児童生徒がより意欲的に、そして主体的に学習に取り組む場面の創出が可能となっている。しかしながら、ICTの活用は目的ではなく、あくまで手段の一つであることを再認識し、指導の本質を押さえながら、効果的な場面で工夫をして活用することが重要となる。また、児童生徒の電子黒板の見え方やタブレット端末活用の頻度だけでなく、自治体や学校によっては、インターネット環境やICT機器の不具合、容量の大きさによるデータの共有や受け渡し等の課題が挙げられ、それらに上手に対応しながら指導を実践していくことも必要である。さらに、個別的な相談指導や実態把握における調査の集計や解析、ホームページやブログでの啓発、給食管理においてなど、ICTのさらなる活用も模索することで、業務改善を図りながら食育の焦点化と重点化を行うことが肝要となってくる。

児童生徒が自らの食について積極的に考えることで、将来を見通した食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、栄養教諭は今後も、学校・家庭・地域と連携を図りつつ、ICTを効果的に活用した継続的な食育を実践していきたい。

全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑤

就労後の自立を目標とし、人生100年時代を生きていく力の育成 ～生徒主体の健康課題への実践と発表～

令和3年度最優秀校 大阪府立とりかい高等支援学校

1 学校紹介

本校は、大阪府摂津市に職業学科を設置する高等部単独の支援学校で、全校生徒は108名、うち共生推進教室17名である。(R4.1.1現在)

平成25年4月に開校し、令和4年度は開校10年目を迎える。職業学科として、「生産技術科」「食とみどり科」「生活科学科」の3学科を設置しており、職業教育に重点を置いた教育課程を編成している。



2 学校経営方針と健康づくり

本校では、就労を通じた社会的自立を目標としており、他者とのつながりのなかで自分らしさを発揮し、社会に貢献できる豊かな人材の育成をめざす学校である。日々の学校生活や職場実習での取り組みを通じて、就労後の職場定着を見据えた指導を実践している。

3 健康づくりの推進体制

(1) 推進組織の状況

○保健部を中心とした学校保健推進活動

行事前には生徒の実態や既往歴等を踏まえ、安全な活動になるよう話し合っている。新型コロナウイルス感染症の予防として、最新の知見や文部科学省、大阪府教育庁からの指示事項を踏まえながら本校独自の「新型コロナウイルス感染症対策の手引き」を作成した。

(2) 健康相談・保健指導の活動状況

○教職員や臨床心理士、精神科校医による教育相談と健康相談

主に学年外の教員によるランチタイム相談室を開き、いつでも生徒が相談できる体制を組んでいる。月1回、臨床心理士が来校し、保護者や生徒の相談を受けている。また、希望者に対し、精神科校医による精神科・心療内科相談を年5回実施している。

○家庭・地域等との連携状況

学校と保護者をつなぐツールは、連絡帳、すぐメール、学校ホームページ等があり、定期的な懇談や必要に応じた電話連絡や電話相談を行っている。地域の保健所からは、とりかいフェスタでの食品に関する衛生指導を受けることや、喫煙薬物乱用防止教育の資料提供を受けている。生徒卒業後も就職先と連携し、アフターフォローを行っている。

(3) 学校保健委員会の活動

年2回、学校保健委員会を実施している。平成27年度から大阪府立学校保健研究発表大会に参加しており、毎年2回目の学校保健委員会では、生徒保健委員が大会での発表を両校の教職員、学校三師、保護者に披露している。

4 生徒保健委員会による保健研究発表

(1) 課題の把握と設定状況

健康に関して興味関心のある生徒が多く、毎年、保健・環境・防災の3つのテーマから生徒保健委員会活動になるものを考えている。虫歯が多いことが課題なら「ハミガキ100%大作戦」、校舎の汚れが課題なら「とりかいクリーン大作戦」、大阪北部地震に被災したなら「ゆれる大防災線!」、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍となれば「私たちができること」と本校での課題や社会とのつながりを考えた課題設定を行っている。

(2) 大阪府立学校保健研究発表大会への実践発表

ハミガキ100%大作戦

①ハミガキ100%大作戦のマスコットキャラクターの作成

美術科教員に協力依頼し、キャラクターシールを作成した。年度初めの生徒集会で「ハミガキ100%大作戦」の説明を行い、生徒教員を含めた全員に周知した。



②歯に関する掲示物作成

歯みがきを促すポスターや歯に関するクイズを作成し、クイズは学校祭(文化祭)である「とりかいフェスタ」に展示した。

③昼食後の歯みがきチェック

毎日、生徒保健委員がチェック表を使用して、クラスの生徒が歯みがきを行ったかチェックした。

④歯みがき実施率の周知

職員室横に全クラスの実施率が書ける表を作成・掲示した。毎月の歯みがき実施率に加え、歯ブラシ持参率と年度末には歯科受診率も書いた。1ヵ月間、100%を達成したクラスにはキャラクターシールを貼り、歯みがき実施率の向上を図った。

⑤歯みがき強化週間の設定

月末の1週間を強化週間とし、生徒保健委員が歯みがきの時間帯に合わせてお昼の放送を行った。放送では、歯みがきの呼びかけと歯みがきに関する音楽をかけた。音楽は「虫歯建設株式会社」が人気で、楽しく歯を磨く習慣づけを行った。

とりかいクリーン大作戦

美化活動を「大改造!! 劇的ビフォーアフター」のパロディ動画にした。



<ナレーション>

大阪府摂津市、ある問題を抱えた学校がありました。大阪府立とりかい高等支援学校。この学校が抱える問題。

それは…中古物件「古い汚れの目立つ学校」「ペンキの汚れ」「落書き」「タイルの汚れ」そんな学校を救うべく、たくさんの生徒が立ち上がりました。

「清掃の匠、保健委員」週末のクリーン大作戦で、汚れの目立つ場所を徹底的に掃除しました。きれいに生まれ変わった学校の全貌をご覧くださいませ。とりかい高等支援学校が開校した当初からあったペンキの後、なんということでしょう。何度スポンジで磨いてもなかなか落ちませんでしたが、ヘラを使って落とし、こんなにきれいになりました。スポンジだけでは落ちなかった落書き、紙やすりで削り、生産技術科のみんなにペンキで塗ってもらいました。保健委員の挑戦は続く。



ゆるる大防災線!

2018年6月18日に起きた大阪北部地震の発生時刻は7時58分。生徒の大半は、登校途中にあった。このまま家に帰るべきなのか、学校に行ったほうがいいのか、誰に連絡すればいいのか、たくさんのことを咄嗟に判断することが難しかった。そこで、困った時に活用できる防災マニュアルを作成した。



防災マニュアルには役に立つ情報をたくさん載せています。

- ①緊急連絡先の記入欄
- ②災害時持ち出し物品の一覧
- ③非常災害時の措置基準
- ④とりピア：応急処置方法
- ⑤通学路、バス・電車、エレベーター、家で地震が起きた時の対応方法
- ⑥ヘルプマークを参考にしたヘルプカード
- ⑦0000JAPAN(災害が起きた時に無料で使えるインターネット Wi-Fi)
- ⑧LINEで自分の居場所を知らせる方法
- ⑨通学中、災害が起きた時の対応フローチャート

5 成果と課題、まとめ、評価等

大阪府立学校保健研究発表大会への参加は今年度で8回目になる。継続した活動を行うことによって、保健委員でない生徒も保健委員の活動イメージを持ちやすくなっている。生徒保健委員会は研究発表大会に出るという目標を持って取り組むことで、自分たちの仕事により責任をもつことができている。また、研究発表大会に参加し、他校の発表を見た生徒は「こういう発表もしてみたい!」という意欲的な発言もあり、次年度へつながる活動となっている。今後も本校の課題を見つけ、研究発表大会への参加を通して、生徒保健委員会の活動へと繋げていきたい。生徒保健委員会の取り組みが全校生徒、教職員、家庭、地域へと広まるよう、限られた時間の中でも生徒が主体的に取り組むことができるように計画的に実践していきたい。

学校保健・学校教育と 脳卒中予防啓発

公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 峰松 一夫

はじめに ～日本脳卒中協会・疾病予防啓発のあゆみ～

まず、私たち公益社団法人日本脳卒中協会の活動について、ご紹介します。当協会は、脳卒中の予防と患者・家族の支援を目指して、1997年に設立されました。会員は、脳卒中診療・ケアに関わる医療従事者、脳卒中経験者及びその家族が中心です。脳卒中は、わが国の死因の第4位を占め（1位がん、2位心臓病、3位老衰）、患者数は112万人に達しています（平成29年厚生労働省患者調査）。ひとたび脳卒中に罹患すると、重大な後遺症を残す場合が多く、寝たきり老人の約3割、要介護者の約2割を脳卒中患者が占めており、要する医療費、介護費はそれぞれ年間約1兆7千億円、約1兆9千億円と莫大です。本人はもちろん、そのご家族、社会に対する負荷の極めて大きな疾患といえます。一方で、医学の進歩により診断法、治療法、対処法も大きく進歩しつつあります。こうした背景の中、本協会は2008年頃より、国を挙げて脳卒中对策を推進するための対策基本法の法制化運動を続けてきました。最終的には2018年12月に、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（脳卒中・循環器病対策基本法）」が国会で成立し、公布されました。

この法律に掲げられた基本的施策の筆頭に「予防等の推進」が掲げられました。すなわち、「第12条 喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境、肥満その他の健康状態並びに高血圧症、脂質異常症、糖尿病、心房細動その他の疾病が循環器病の発症に及ぼす影響並びに循環器病を発症した疑いがある場合の対応方法に関する啓発及び知識の普及、禁煙及び受動喫煙の防止に関する取組の推進その他の循環器病の予防等の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」と書かれています。

健康リテラシーの育成を目的とした学校での啓発活動

学校保健の現場では、学校医の先生方を中心に、子どもたち向けの健康教育の様々な教材を制作なさっていると伺っています。私たちも脳卒中啓発の取り組みのなかで、小中学校生徒・学童向けのポスター（紙、マグネット）、ボールペン、クリアファイル、リーフレット、漫画冊子、アニメDVDなどの教育・啓発ツールの開発に関わりました。学校現場や行政関係者、消防隊などのご協力を得て、幾つかのモデル地域でこれら啓発ツールを用いた子どもたちへの啓発活動を行ってきました。その結果、子どもたちの認識が変わるのみならず、家族や周りの大人へのプロバイダーとしても大きな影響を与えることを示すことができました（文献1,2）。

例えば、2012年10月～2013年5月の期間、厚生労働科学研究費「慢性期ハイリスク者・脳卒中および心疾患患者に適切な早期受診を促すための地域啓発研究（主任研究者：宮本恵宏）」と日本脳卒中協会との共同研究が実施され、脳卒中死亡が高率である栃木県の特定地域の全公立中学校の生徒1,125名及び11～12歳の小学校児童268名に啓発ツールを配布し、啓発効果を検討しました。その結果、生徒・児童のみならず、その保護者に対する間接的な脳卒中啓発効果も確認されました（文献3,4）。これらの成果は、国内外の専門誌に発表され、大きな反響をもたらしました。

私たちは、学校保健で「脳卒中」について教えてほしいと活動しているわけではありません。人生100年時代は学校教育期間の4～5倍以上の長さです。成長段階にある子どもたちの学校時代に、大人になってからの疾病についての知識を詰め込むことは、実施が現実的でないのみならず、医療医学の進歩によって、こうした知識もいずれ陳腐化し、役に立たなくなります。長い一生を健やかに過ごすためには、個別疾患の知識ではなく、むしろ新しい健康に関する知識を不断に取り入れる能力、健康リテラシーの向上が重要です。

現在の学習指導要領の「保健」の項をみると、次の記述があります。

「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。」

まさに、私たちの活動のゴールが書かれています。2019年の日本医師会の学校保健委員会報告でも、子どもたちの健康リテラシーの確保の重要性が指摘されていました。

学校教育とのさらなる連携を目指して

当協会には宮城県を除く全都道府県と、横浜市、北九州市の2政令都市に支部があり、それぞれ支部長、副支部長がいます。宮城県は、当協会発足前より宮城県対脳卒中協会が存在し、独自に活動していますが、当協会との連携は十分に出来ています。

各支部として、地元学校、学校医の方々と合意が得られれば、出前授業を行うべく、当協会内での研修等を進めています。出前授業としては、脳卒中教育に特化するのではなく、子どもたちの未来を見つめた健康リテラシー教育として、そのなかで脳卒中を例に挙げる、といった方向を考えています。

このため、例年実施している全国支部長・副支部長会議や連携している一般社団法人日本脳卒中学会の学術集会のプログラム等を活用して、学校教育の専門家をお招きして指導を受けるなど出前授業等を行うために必要な事項を研修していくことを計画しています。こうした準備をしつつ、地元の先生方、教育現場のみなさまとの連携を目指しています。

おわりに～新たな時代を担う子どもたちの健康リテラシー涵養に向けて～

学校保健を取り巻く環境はだんだん厳しくなっています。デジタル化の急速に進行する社会のなかで、子どもたちは、こころの問題をはじめ、様々な難しい問題を抱えています。学校内では保健主事や養護教諭だけでなく教職員をあげて取り組んでいらっしゃるとはいえ、教科教育はますますタイトとなっています。学校医の先生方の職務も多岐に亘り、保護者の対応や要求も多様化しています。教職員自身の健康問題の深刻さもしばしば報道されています。

こうしたなかでも、学校保健の現場で子どもたちの健康リテラシーを培うために、私たちのお手伝いできることがあるのではないかと考える次第です。そこで、当協会としては、学校保健を担っていらっしゃる皆様方と、各地で意見を交換し、ご協力させていただきたい、わたしたちを活用していただきたい、と願う次第です。2023年、子どもたちの健康リテラシー涵養に向けて、新たな第1歩を踏み出そうではありませんか。

- 1) Hino T, Yokota C, Nishimura K, et al: Spreading awareness of stroke through school-based education: A pooled analysis of three community-based studies. J Stroke Cerebrovasc Dis 2018;27:1810-1814
- 2) 横田千晶、峰松一夫：究極の時間短縮戦略。－若年層をターゲットにした脳卒中啓発とその効果－ 脳卒中2018：40：445-450
- 3) Matsuzono K, Yokota C, Takekawa H, et al: Effects of stroke education of junior high school students on stroke knowledge of their patients. Tochigi project. Stroke 2015;46:572-574
- 4) Kato S, Okamura T, Kuwabara K, et al: Effects of a school-based stroke education program on stroke-related knowledge and behavior modification - school class based intervention study for elementary school students and parental guardians in a Japanese rural area. BMJ Open 2017 <https://bmjopen.bmj.com/content/7/12/e017632>

令和4年度 学校健康づくり啓発ポスターコンクール

受 賞 作 品

日本学校保健会の令和4年度学校健康づくり啓発ポスターコンクールに全国から総数3,906点に及ぶご応募をいただき、ありがとうございました。

各部門の最優秀賞作品を使用したポスターは、健康づくり啓発の一環として、全国の学校等へ配付する予定です。

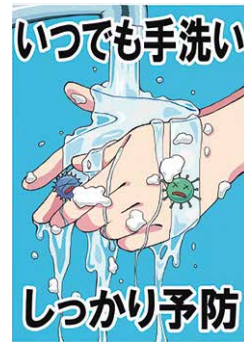
最優秀賞



富山県入善町立入善小学校
5年 五十里 日向さん



埼玉県鴻巣市立川里中学校
2年 須藤 虹音さん

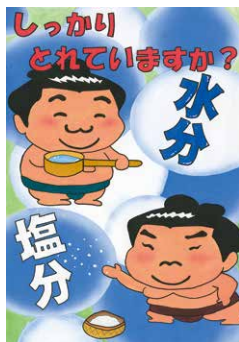


奈良県橿原学院高等学校
3年 山崎 瑞季さん

優秀賞



埼玉県坂戸市立千代田小学校
4年 薄葉 祐希さん



青森県むつ市立大湊中学校
3年 濱田 琉衣さん



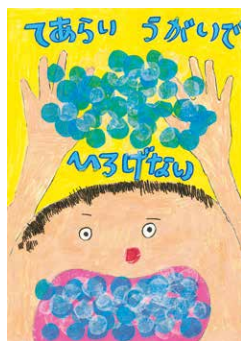
大阪府和泉市立石尾中学校
3年 山崎 佳純さん



茨城県筑西市立伊讚小学校
5年 小嶋 莉央さん



兵庫県立姫路工業高等学校
2年 中安 慶さん



千葉県立市原特別支援学校
中学部2年 齋藤 欣大さん



宮崎県立佐土原高等学校
1年 馬瀬 椰子さん



愛知県立知立東高等学校
1年 江坂 実秋さん

■最優秀賞・優秀賞作品は、こちらからもご覧になれます。

<https://www.gakkohoken.jp/themes/archives/158>



令和4年度公益財団法人日本学校保健会賛助会員

〈五十音順・敬称略〉

令和5年2月7日現在

本年度も賛助会員にご加入いただき、誠に有難うございました。

特別賛助会員

大塚ホールディングス株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
カバヤ食品株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
マルホ株式会社
株式会社ミニナム
森永製菓株式会社
ライオン株式会社
株式会社ロッテ

法人賛助会員

株式会社朝日エル
アサヒビール株式会社
株式会社映学社
株式会社オフテクス
科研製薬株式会社
クーパービジョン・ジャパン株式会社
株式会社サンギ
株式会社三和製作所
株式会社少年写真新聞社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ビジョンケアカンパニー
株式会社ダンスノットアクト
中外製薬株式会社
日本アルコン株式会社
日本新薬株式会社
株式会社メニコン
バイオジェン・ジャパン株式会社
株式会社リーパー
ロート製薬株式会社
株式会社ワコール

匿名1社

学校保健用品等賛助会員

株式会社青井黒板製作所

青山眼鏡株式会社
味の素株式会社
赤城工業株式会社
株式会社アルポーヌ
ウィンバード株式会社
株式会社内田洋行
株式会社イー・アンド・デイ
株式会社EDUCOM
NIKE株式会社
花王株式会社
株式会社カズサ
河合薬業株式会社
菅公学生服株式会社
株式会社GLASSART
株式会社コスミックエムイー
株式会社サイバーリンクス
蔵王産業株式会社
シキボウ株式会社
四国化成工業株式会社
株式会社システムディ
株式会社システムリサーチ
勝美印刷株式会社
スズキ教育ソフト株式会社
東京サラヤ株式会社
東京書籍株式会社
東ソー株式会社
東洋羽毛工業株式会社
南海化学株式会社
日産化学株式会社
株式会社日本医療機器開発機構
日本曹達株式会社
株式会社ピーカブー
株式会社ビッグウイング
株式会社文溪堂
リアルワールドデータ株式会社
リオンテック株式会社
株式会社両備システムズ

団体賛助会員

公益財団法人神経研究所
一般財団法人電気安全環境研究所
一般財団法人東京顕微鏡院
公益社団法人日本眼科医会
JES日本教育シューズ協議会
一般社団法人日本コンタクトレンズ協会

個人賛助会員

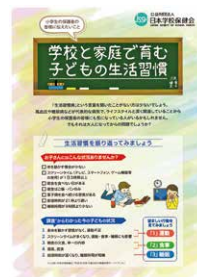
戸田 芳雄
高石 昌弘
宮浦 徹
菊池 信太郎
村松 章伊
土器屋 美貴子
菅尾 光子
福下 公子
柏井 真理子
高橋 達行
藤居 正博
宇津見 義一
森口 久子
廣兼 守

匿名1名

特別賛助会員とは・・・

日本学校保健会と協働して資料の作成・配付、研修会の共催などを行っています。

(例：大塚ホールディングス株式会社様 協働事業「児童生徒の生活習慣向上啓発委員会」作成パンフレット)



公益財団法人日本学校保健会

令和5年度

賛助会員ご加入のお願い 学校保健をささえるご支援を!

本会の目的、事業に賛同される方々の賛助会員へのご加入をお願いしています。本会の賛助会員制度は、子どもたちのために事業活動が続ける本会の貴重な財務基盤の一つです。

加入のお申込み・詳細は、HPまたはお電話にてお問い合わせください。

※本会の賛助会費は、特定公益増進法人制度による会費の税制上の優遇処置を受けることができます。

詳細：<https://www.hokenkai.or.jp>

問合せ：TEL 03-3501-0968



令和5年度 全国大会・ブロック別研究大会等開催一覧

令和5年1月31日現在

事業別	大会名	開催日	開催地	会場等
ブロック別大会	第70回北海道学校保健・安全研究大会 札幌大会	未定	北海道札幌市	未定
	第56回東北学校保健大会	令和5年8月10日(木)	秋田県秋田市	アトリオン(予定)
	第74回関東甲信越静学校保健大会	令和5年8月3日(木)	埼玉県さいたま市	埼玉会館等(予定)
	第53回北陸三県学校保健研究協議会	令和5年8月上旬	福井県福井市	会場未定 ハイブリッド開催予定
	第44回東海ブロック学校保健研究大会	令和5年11月2日(木)	三重県四日市市	四日市市文化会館 第2ホール
	第45回近畿学校保健連絡協議会	令和5年7月27日(木)	奈良県奈良市	奈良公園バスターミナル レクチャーホール
	第67回中国地区学校保健研究協議大会	令和5年8月24日(木)	島根県松江市	島根県民会館
	第23回四国学校保健研究大会	令和5年7月27日(木)	香川県高松市	レグザムホール (香川県民ホール)
	第21回九州地区健康教育研究大会	令和5年8月1日(火)	熊本県熊本市	熊本市民会館シアーズ ホール夢ホール、 熊本市国際交流会館、 熊本県医師会館
第74回指定都市学校保健協議会	令和5年6月11日(日)	福岡市	オンライン開催(来賓、 講演者、助言者、提言者、 運営スタッフのみ会場参集) 配信会場:福岡国際会議場 (予定)	
全国大会・職域(団体)別大会	令和5年度全国学校保健・安全研究大会	令和5年10月26日(木) 10月27日(金)	兵庫県神戸市	神戸文化ホール・神戸市 立中央体育館
	令和5年度全国学校保健会中央大会	令和5年10月27日(金)	兵庫県神戸市	神戸市立中央体育館 第2体育室
	第73回全国学校歯科医協議会	令和5年10月26日(木)	兵庫県神戸市	兵庫県歯科医師会館
	第72回全国学校薬剤師大会	令和5年10月26日(木)	兵庫県神戸市	THE MARCUS SQUARE KOBE (ザマーカススクエア神戸)
	第54回全国学校保健・学校医大会	令和5年10月28日(土)	兵庫県神戸市	神戸ポートピアホテル (予定)
	第87回全国学校歯科保健研究大会	令和5年10月19日(木)	大阪府	大阪国際交流センター
	令和5年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	令和5年10月12日(木) 10月13日(金)	広島県広島市	JMS アステールプラザ 中ホール
	第66回全国学校保健主事研究大会	令和5年7月28日(金)	埼玉県さいたま市	ホテルプリランテ武蔵野
	全国養護教諭連絡協議会 第29回研究協議会	令和6年2月16日(金)	東京都	未定
	令和5年度 全国学校保健会運営担当者会議	令和5年4月14日(金) 予定	東京都港区	WEB開催
	全国健康づくり推進学校表彰式	令和6年2月10日(土) 予定	東京都文京区	日本医師会館(予定)
公益財団法人日本学校保健会事業報告会	令和6年2月予定	東京都港区	未定	
領域・分野別大会	令和5年度関東甲信越静学校医協議会	令和5年8月3日(木)	埼玉県さいたま市	未定
	第47回全国眼科学校医連絡協議会	令和5年11月26日(日)	東京都港区	web開催予定
	東京都医師会学校医 第48回学校医大会	11~12月頃	東京都千代田区	東京都医師会館
	令和5年度学校保健全国代表者会議ならび に学校保健研修会(日本耳鼻咽喉科学会)	1月末頃	東京都品川区	未定
	令和5年度学校保健講習会(日本医師会)	令和5年4月2日(日)	東京都文京区	日本医師会館

*開催日・会場は主催者の都合により変更することがあります。

虎ノ門 (179)

長年の悩みと歯並び・かみ合わせ

歯並び・かみ合わせの治療(矯正歯科治療)の目的を尋ねると、歯並びやかみ合わせを治して、綺麗な口元にすることと答えられる方が多いと思います。他にはよく噛めるようにする、また審美的な視点で外見の悩みの解消のためと答えられる方もいらっしゃるでしょう。特に外見の悩み解消という目的は、現代のルッキズム(見た目で人を判断したり、容姿で差別したりすること、外見至上主義などと言われています。)と言われる風潮から、矯正歯科治療のニーズを高めていると感じています。

ところで、私は36年間、歯科医師として矯正歯科治療に携わっていますが、時折、患者さんから思いがけない感謝の言葉を耳にすることがあります。先日こんな言葉をいただきました。「先生、私の小学校から長年あった悩みが、矯正歯科治療によって解消され母親とともに大変喜んでます。もっと早く治療すれば良かったねと話しています。本当にありがとうございました。」

この患者さんに詳しく聞いてみると、「実は幼い頃からかみ合わせが悪いことは母と共に自覚をしていましたが、治療を受けるかどうか迷っているうちに治療の機会を逃して過ぎて来てしまいました。大人になって矯正歯科治療を受け、かみ合わせが良くなったなら、ずっと悩みの種であった口蓋扁桃肥大も改善して体調も良くなり、子供の頃からの長年の悩みがすっきり解消されました。」ということでした。歯並び・かみ合わせとともに他の悩みごとにも解消され大変喜んでいてということだそうです。

このように歯科医師は矯正歯科治療が、歯並び・かみ合わせの問題解決に留まらず、他の心身の問題にまで良い影響を与えることがあると知っています。学校歯科健康診断の歯列・咬合の項目のスクリーニングで「2:要医療」という結果を、こういった視点でも捉えていただくことが、心身共に健全な笑顔輝く若人の育成に繋がっていくと思っています。

(会報『学校保健』編集委員会 委員 佐々木 貴浩)

(株)内田洋行の通信販売

通販 UCHIDAS

保健UCHIDAS

感染症対策

保健室でお使いになる商品、お役立ち商品をまとめて別冊化しています!

240ページ
約2,700アイテム
掲載!



保健室 はもちろん!

養護の先生が
よくお使いになる商品を
掲載しています!

手指衛生 トイレ用品 清掃用品
キッチン用品 事務用品 など



2023版
発刊
しました!



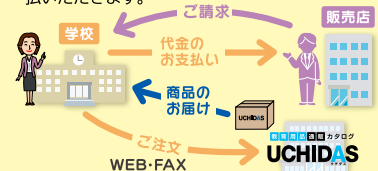
保健UCHIDAS
キャラクター
アヤコ先生



保健UCHIDAS
キャラクター
キユーちゃん

■ウチダスのしくみについて

- ・学校様よりご注文(WEB・FAX)でいただいたご注文は、当社倉庫より配送されます。
- ・ご注文商品の代金は最寄りの担当販売店へお支払いただけます。



ウチダスは「地域有力販売店」と「内田洋行」との共同事業です。

お問い合わせはこちら

株式会社内田洋行 / 教育機器事業部 ウチダス事業グループ
ウチダスお問い合わせセンター TEL ☎0120-757-969
受付時間 午前9時~午後5時(土・日・祝日を除く)

www.uchidas.net

送料
無料

インターネットショップ/FAX
PM 5:00

※
※までの
ご注文が
翌日お届け
※北海道、九州、離島、(本州・四国の一部)は翌々日以降にお届け

※保健UCHIDASが未着の場合は、事務ご担当者、または販売店にご確認ください。

Menicon **コンタクトレンズや瞳に関するホームページをご用意いたしました!**
学校でのご指導にぜひお役立てください。

おすすめコンテンツ

1 はじめてガイド
 コンタクトレンズの魅力や種類、使い方などをわかりやすく紹介し、コンタクトレンズデビューを応援するコンテンツ。
コンタクトレンズデビューはここから!
はじめよう
コンタクトライフ

2 うんこ先生と学ぶ! はじめてのコンタクトレンズ
 メニコンと「うんこドリル」が合体! うんこ先生といっしょに「目」について楽しく学べる特設サイトとゲームを公開。
うんこ先生と学ぶ!
はじめての
コンタクトレンズ

3 #カラコンのコレカラ
 目の安全を守りながら健康的にカラコン(カラーコンタクト・サークルレンズ)を楽しむための情報発信サイト。
#カラコンのコレカラ
カラコンの正しい使い方、目の健康を守るための情報発信サイト。
Powered by Menicon

詳しくはこちら <https://www.menicon.co.jp/gh/>





Lumone
ルモーン

GOOD DESIGN
HARUO DOWN

◆日本学校保健会推薦用品

ルモーンのコア®羽毛掛けふとん・合掛けふとん・肌掛けふとんは、日本学校保健会の推薦用品です。

TUK 東洋羽毛工業株式会社
 〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-26-5
<https://www.toyoumo.co.jp>
 お客様相談室  0120-410840

学校保健の最新情報を満載

令和4年度版 **学校保健の動向**

特集

I. コロナ禍における学校保健

1-1 コロナ禍のなかの子供とその保護者のこころの実態
 国立成育医療研究センター コロナ×こども本部 部長 森崎 菜穂

1-2 コロナ禍における特別支援教育 ―影響と新たな展開―
 筑波大学 人間系 教授 柘植 雅義 他

1-3 コロナ禍における特別支援教育の取組 ―歯科保健の課題―
 公益社団法人 日本学校歯科医会 専務理事 長沼 善美

II. 学校におけるセーフティネットのあり方 ―学校給食・就学援助を中心に―
 跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授 鷹 咲子

III. ヤングケアラーの現状と適切な支援 ―それぞれの立場でできることは何かを考えてみる―
 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 上原 美子

【通常誌面】

第1章 健康管理の動向
 児童生徒の発育・発達、感染症、内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、産婦人科、児童生徒のメンタルヘルス、児童生徒等の事故災害、教職員の健康管理

第2章 学校環境衛生の動向
 学校環境衛生、学校給食の衛生管理

第3章 健康教育の動向
 保健教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、歯・口の健康教育、学校安全、食育、心の健康教育、性教育・エイズ教育


第4章 学校保健に関する組織・団体の最近の動向

第5章 資料編 学校保健関連年表

◆その他、コラム 「子供の歯並び・噛み合わせについて」「夜尿症の治療は小学1年生から」ほか

■ご購入・申込みは、日本学校保健会HP (<https://www.hokenkai.or.jp>) ※一般書店等でも購入できます!

養護教諭・大学関係者必携



発行/日本学校保健会
 2,800円(十税10%)